



あきる野市長選が9月4日投票され、前市議会議長で無所属新人の中嶋博幸氏(55)が自民、公明推薦で1万8600票で圧勝した。起死回生を図った無所属前職の村木英幸氏(65)は4677票だった。選挙は厚い組織力に支えられた中嶋氏の事実上の信任投票だった。1万8600票は十分な信認を得たと評価でき、市政の安定を掲げる中嶋氏は順風満帆の船出になった。投票率は41・69%。当日有権者数は6万6642人だった。

変革の波 問われる力量

「18歳以下の医療費無償化など子育て支援を手厚くするのだから、しっかりと議論し、インフラ、中国の脅威などを背景にした経済安保の観点から製造業を...」

本紙では7月23日配信中で、「村木氏と中嶋氏の事実上の...」

「企業誘致こそ課題だ。工業団地の整備が先行した羽村市や瑞穂町は、景気の変動に左右はされるが、ほぼ不交付団体として財政は安定している。あきる野市が旧秋川市から引き継いだ菅生インダストリアルパーク、秋川西部地区開発はデフレが進行する中で、富士通テクノロジセンターや日本D・I・Cを誘致した...」

中嶋氏 市政安定へ十分な信認 財政安定化策はしっかりと議論を

あきる野市長選が9月4日投票され、前市議会議長で無所属新人の中嶋博幸氏(55)が自民、公明推薦で1万8600票で圧勝した。起死回生を図った無所属前職の村木英幸氏(65)は4677票だった。選挙は厚い組織力に支えられた中嶋氏の事実上の信任投票だった。1万8600票は十分な信認を得たと評価でき、市政の安定を掲げる中嶋氏は順風満帆の船出になった。投票率は41・69%。当日有権者数は6万6642人だった。

東海大学菅生高等学校 同窓会 『菅生川蟬会』
川蟬会は東海大学菅生高等学校の建学の精神に則り、会員相互の親睦を図り、併せて母校の発展に寄与することを目的としています。
事務局 学校法人菅生学園内 担当:近藤英一
〒197-0801 東京都あきる野市菅生 1468
TEL.042-559-0066 (代表) / FAX.042-559-0577

家庭的で温もりあるケアが安心と信頼を育みます。
老人デイサービスセンター 福楽園
高齢者在宅サービス増戸センター
社会福祉法人 豊生会 特別養護老人ホーム 福楽園
〒190-0155 あきる野市網代326-1
042-596-4112 fax042-596-4176

東京25ジャーナル・高校同窓会かわら版

東海大学菅生高校 菅生川蟬会 第3号

情報科教諭と司書教諭の二刀流

川蟬会常任委員 15期生 佐渡正知さん

情報科教諭と司書教諭の二刀流。川蟬会では常任委員として同窓会と学校をつないでいるのが、15期生の佐渡正知さん。

菅生高校には親の意思で1997年に入学。前年に野球部が甲子園初出場を果たすなど、新たに情報科が設けられ、教員免許が取れると知った。教職課程は4年時の1年間では取り切れず、大学院に進学。母校で教育



その後は所沢の高校などで講師の依頼を受け、多い年は3校を掛け持った。5年ほど前に現職に就いた。結婚は2012年。5歳の3歳の姉妹を授かり、多摩市で暮らす。情報科は主にコンピュータやネットワーク活用の基礎を学ぶ。社会に出て困らない知識と技術を習得し、事務系ソフトの扱いやネットでのコミュニケーションの取り方、情報の集め方なども身に付けてほしい」と目を輝かす。

7年前、図書委員としてお世話になった森川久仁子先生から司書教諭を引き継いだ。心掛けたことは図書室の敷居を低くし、手に取りやすいうだ。



射込み練習を重ねる部員たち(菅生弓道場)

大会では、矢を4本打って、的中数で勝ち負けを決める。団体戦は5人の合計数で競う。目標は10月に行われる東京都秋季大会団体で男女揃って優勝し、12月に熊本県である全国選抜大会に出ること。児玉祥正(しょうせい)主将は「試合で緊張せず力を発揮できるように日頃の練習を積みみたい。心技体を鍛え、全国切符をつかみたい」と意気込みを語ってくれた。

餃子、角煮、究極チャーハン 行列の繁盛店

町中華の四つ角飯店(立川市曙町)の4代目を2014年から継ぐのが3期生の高橋淳さん。オーナーシェフとして25人ほどの社員とアルバイトをまとめ、行列のできる繁盛店を守っている。

店は立川銀座と呼ばれる商店街の一角に祖母が1927(昭和2)年に創業。父幸夫さん、母ミヤ子さんが継いできた。だが、2013年に立川駅北口の再開発に伴い閉店。新店舗を探しての再開には1

年10カ月かかった。それでも常連客は待ち望んでくれた。

客を虜にしたのが、店の代名詞になっている餃子(6個360円)。1つ1つ手づくりした餃子は全てその日に使い切り、冷凍は扱わないこだわり。肉とシラ、キャベツがたっぷりで隠し味の効いたあんともちもちの皮が絶品。普段で1日1000個近く、半額で提供する毎月5、15、25日の「餃子の日」

つづりで隠し味の効いたあんともちもちの皮が絶品。普段で1日1000個近く、半額で提供する毎月5、15、25日の「餃子の日」

には7000個を売り上げる。

角煮定食(1200円)は6000円を超す角煮が見た目も胃袋も驚かす。赤身が8割なので女性でも完食する人は多い。名前に魅かれる究極のチャーハン(950円)も人気だ。いづれも質、量、価格の3拍子揃ったメニューばかりだ。

受け継ぐ味の基本は守りつつ、高橋さんが見直したのは食材の質。「もちろん料理に自信はあったが、良い食材を使えば、もっとおいしいくなり、

オンリーワンになっていく」と胸を張る。

菅生高校では部活には入らず、いわゆる帰宅部だったが、仲間がいつぱいいた。当時、日野にあった支店でご飯をよく食べた。「2年8組の仲間とは宴会もした。30人ほどが集まり、少し背伸びしたこともある。やんちゃもしたので大谷嘉彦先生たちに随分お世話になった」

「バイクなどに夢中になってしまいう業がおろそかになった時は、峰岸英仁先生(現校長)に両親が呼び出された。

四つ角飯店(立川市)のれん守る4代目 高橋淳さん 3期生



店はテレビニュースや投稿動画サイトで話題。「素材にこだわりおいしい中華を提供したい」と高橋さん

された。先生方の指導のおかげでようやく卒業できた」

調理専門学校に通い、その後は中華一筋の道を歩んできた。2人の息子、8歳と4歳の孫も男子。誰か継ぐだろうと思っている。

5年後には創業100年を迎える。その時は餃子を100円多数の取材を受けているので、高橋さんの勇姿をご覧あれ。

11時30分〜20時30分(L.O)。不定休。042(522)3668まで。

男女そろって全国目指す 弓道部 「射法八節」 技と心磨く

スポーツ競技を静と動で大別するならば、精道部もその一角を占めている。昨年度は男子団体で全国選抜大会に、今年度は女子団体がインターハイ出場を果たした。

長さ2メートルほど、両教諭の下、28日先に大会では、矢を4本打って、的中数で勝ち負けを決める。団体戦は5人の合計数で競う。目標は10月に行われる東京都秋季大会団体で男女揃って優勝し、12月に熊本県である全国選抜大会に出ること。児玉祥正(しょうせい)主将は「試合で緊張せず力を発揮できるように日頃の練習を積みみたい。心技体を鍛え、全国切符をつかみたい」と意気込みを語ってくれた。